

平成26年（2014年）第3回市議会定例会本会議（9月19日）

教育福祉常任委員長報告（議案）

ただいま議題となっております議案のうち、教育福祉常任委員会に付託されました議案第69号から第76号まで及び第80号の以上9件につきまして、委員会における審査の経過と結果を報告します。

委員会は、9月4日会議を開き、案の説明を聴取して質疑を行いました。

主な質疑を申し上げますと、議案第69号 放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例制定については、市と事業者に対する基準向上のための条文の整合性、児童福祉法第21条の9に基づく市の役割に対する認識、事業者が基準を満たすための支援の内容、児童1人当たりの専用区画面積規定の経過措置期間についてであります。

議案第70号 家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例制定については、本市独自の保育士配置基準設定による事業者への影響、小規模保育事業C型に規定する職員の資格要件についてであります。

議案第72号 幼保連携型認定こども園の学級の編制、職員、設備及び運営に関する基準を定める条例制定については、その他設備の基

準に駐車場を規定することの是非、職員数における本市独自基準設定の考え方、認定こども園への移行推進と本市の独自基準設定との整合性、保育教諭確保の見通し及び確保に向けた方策についてであります。

議案第73号 保育実施基準条例廃止については、条例廃止後の保育園に対する児童福祉法第24条第1項適用の有無についてであります。

議案第76号 乳幼児健康支援デイサービスセンター条例中改正については、本市におけるこれまでの病児の施設利用状況、国の制度改正の確実な把握の重要性についてであります。

議案第80号 物品の買入れについては、設置設定業務を含めたパソコン購入先選定の必要性、ソフトウェアとハードウェアを分割発注とする理由及びソフトウェアの内容、再編交付金終了後の小学校ICT化推進の方向性についてであります。

次いで、討論において、青木哲正委員から、議案第80号について、「学校現場のICT活用教育に使用されるパソコン機器が特定の業者にかなり独占的な発注となっている。横須賀市は市全体のICT環境の設定に関して、10年以上前から特定の業者と継続して業務を行わなければならない状況を回避するため、オープンソースで進められてきたが、今回の発注は、その取り組みとかい離しており、決

して健全な業務執行とは言えないと思う。従って、指摘事項については、改めて改善されるよう希望し、本議案に賛成する」旨の意見があり、また、大村洋子委員から、議案第 70 号について、「小規模保育事業B型の保育士配置を国の基準よりも手厚くしたことは評価するところだが、同事業を認可保育園と同等と規定するのであれば、内容的にも同程度の保育が行われて当然である。保護者にとって、A型、B型、C型で保育士の配置基準に格差が生じることは納得できないことで、国家資格を持つ保育士に本市の将来を背負う子どもたちの保育をしっかりと担って欲しい。国の基準に従わざるを得ないことは承知するところだが、はじめから格差が生じることが想定できる制度には納得できないため、本議案に反対する」旨の意見があり、採決の結果、議案第 69 号、第 71 号から第 76 号まで及び第 80 号の以上 8 件は全会一致で、議案第 70 号は賛成多数で、いずれも原案どおり可決すべきものと決定しました。

以上で報告を終わります。